

センター試験リスニング試行テストは、こう行われた！ PART.2 テスト当日の流れ

解答時間は30分。リスニング音声は2回流れた

旺文社 教育情報センター 16年11月

受験生は試験室に午後1時10分までに入室を済ませ、試験監督の指示のもと、次のような流れで試行テストが行われた。

筆記試験

まず、リスニングテストに先立って、午後1時30分から筆記試験（20分）が行われた。筆記試験とリスニングテストの間には、休憩時間（30分）がとられた。

問題セットの配布

午後2時20分からリスニングテストを実施。

受験生には「ICプレーヤー」「音声メモリー」「ヘッドホン（またはイヤホン）」「問題用紙」「マークシート」のセットと、「操作の手引書」が配られた（写真①）。



(写真①)

機器の操作準備

* まず、プレーヤーについている、青色の保護シール（写真②）をはがす。



(写真②)



- * レシーバーをプレーヤーに差し込む（写真③）。レシーバーはヘッドホンとイヤホンがあり、会場によってどちらかが使用された。ただし、空港付近など騒音問題を抱えている会場では、ヘッドホン・イヤホン両方を同一会場の中で試した。



(写真③)



- * 音声メモリー（写真④）をプレーヤー右側の挿入口に差し込む（写真⑤）。



(写真④)



(写真⑤)



- * 裏面の電池の絶縁シート（写真⑥）を抜き取り、電源ボタンを押すと、緑のランプ（電源ランプ）が点灯する（写真⑦）。



(写真⑥)



(写真⑦)

「聞こえ」の調整

- * 試験監督の指示で、レシーバーを耳に装着し、確認ボタンを押すと、プレーヤー上部の赤色のランプ（作動中ランプ）が点灯する（写真⑧）。



（写真⑧）

- * プレーヤーが正常に作動するか確認と、ボリュームや聞こえ具合の調節のために、レシーバーを通して、まず女性の声（日本語）で説明があった後、問題の内容とは関係のない英語（男女の会話）が1分30秒ほど流れる。この間、プレーヤー下部の音量ツマミでボリュームを調節する。
- * 不具合の出たプレーヤーは、試験開始までの時間帯に交換される。
- * 音量調節の終了時間が近づくと、レシーバーから「レシーバーをはずしてください」との指示が流れ、音声は切れて、いったん赤ランプ（作動中ランプ）が消える。

試験の開始

- * 試験監督の「解答はじめ」の声で試験開始。レシーバーを耳に装着し、プレーヤー中央の再生ボタンを押すと、再び赤ランプ（作動中ランプ）が点灯し、問題文および設問の音声は流れる。
- * 一度再生ボタンを押すと、停止、早送り、巻き戻しはできない仕組みになっている。ただし、音量調節のみ可能。
- * 解答時間は30分だが、そのうちリスニング問題自体の音声は設問ごとに計2回流れ、開始後約27分間で終了。

試験の終了

- * 試験開始27分後、プレーヤーからの音声指示で、レシーバーを耳からはずす。その際、赤ランプ（作動中ランプ）も緑ランプ（電源ランプ）も消える。レシーバーをはずした後も、解答を続ける時間が約3分ある。

- * 試験監督の「解答やめ」の声で鉛筆を置き、試験は終了する。
- * プレーヤーのセットと試験問題は、終了後に回収された。



アンケート調査

- * 音声テスト終了後、リスニングテストに関するアンケート調査が 10 分間行われた。